

海保、抗議船に追突

停止求め、減速した相手に

辺野古
強行の現場から

6日午後2時40分ごろ、名護市の大浦湾沖で新基地建設に反対する市民の抗議船「不屈」が長島付近を航行中、海上保安庁の指揮船に追突される事故が起き

た。「不屈」は操舵室の出入り口に張られたガラスが大破したほか、船べりの一部が破損した。「不屈」には市民3人、指揮船には複数の海上保安官が乗っていたが双方にけが人はいなかった。市民らは海保の過失により船が接触したとして、法的措置も検討している。抗議船の金井創船長(60)は南城市によると、長島付近で別の市民らが乗る力又ーが海保に拘束されたとの情報を得て、不屈は臨時制限区域を示す浮員(フロート)を越えて、救出に向かった。その際、指揮船か



海保の船に追突され、船べりの一部と操舵室のガラスが破損した抗議船「不屈」
＝6日、名護市の汀間漁港

ら停止を求められ、時速20*程度に減速すると左斜め後ろから指揮船の船首が追突してきた。

金井船長は「スピードを落とそうとしたら、左斜め後ろから海保の船が突っ込んできた。パンツという音と衝撃と共に海に投げ出されそうになった。このケースの回避義務は相手側であり、海保に過失があったと

遠くまで評判！
漢方薬・皮ふ病薬
辺土名薬局 名義52-1018

話した。第11管区海上保安本部は本紙の取材に「事実関係を確認中」とした。
一方、海上では、掘削棒が海中に延びた状態のスパット台船上に作業員の姿が確認された。ボーリング調査に関する何らかの作業を実施したとみられる。